かいようこども園♪ 初遠足 楽しいな♪

ピクニック公園（令和7年5月20日）

海陽町議会だより

6月定例会

発行　徳島県海陽町議会　TEL（0884）73−4164
編集　広報編集特別委員会　E-mail gikai@kaiyo-town.jp

Vol. 77 (2025.8)

海陽町議会ホームページ
QRコード
QRコードにアクセスすると
海陽町議会HPが閲覧できます ▶

おもな内容

委員長報告 …… 2・4P
町長行政報告 …… 10P
一般質問 …… 11〜15P

海陽町議会では総務産業建設、文教厚生の2常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案などを活発に審議・調査しました。
委員長報告から要旨を抜粋し、お知らせします。

総務産業建設常任委員会

委員長　富田　寛

6月9日開会。
当委員会所管の協議事項の6月議会提案について、説明を受けた。

専決関係

○令和6年度一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ3億1799万円を減額し、総額を96億1521万円とする。

委員の問 合併浄化槽の処理について、現在は、地下浸透が原則できなくなっている。特に海南地区では側溝がないので、今後どうするのか。

答 側溝の整備は、これから調査・研究していく。

契約関係

災害対応備蓄品として
○可搬型蓄電システム購入契約
○折りたたみ式給水タンク購入契約
○海水淡水化装置購入契約

委員の問 蓄電システムとはどういうものか。

答 蓄電池は持ち運び型で、通信手段に使用する。

委員の問 給水タンクの容量は。

答 約1トンである。

可搬型蓄電システム

予算関係

○令和7年度一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ3億3835万円を追加し、総額を102億2435万円とする。

歳入予算
・国庫補助金
社会資本整備総合交付金　［3692万円］
・県補助金
県単土地改良事業補助金　［350万円］
南海トラフ巨大地震等対策事業費補助金　［769万円］
・企業版ふるさと納税一般寄附金　［970万円］
・財政調整基金繰入金　［1億4780万円］

歳出予算
総務費
・カーブミラー設置費　［60万円］

委員の問 設置場所はどこか。

答 今回は2基で、当初を含め3基。場所は四方原多ル美、宍喰の正梶、かもめ橋付近。

農業費
・鳥獣侵入防止柵等設置支援事業補助金　［360万円］

委員の問 鳥獣侵入防止柵の申請は1人1回か。

答 できれば年度ごとに、1人がまとめて申請してほしい。
・集積加速化支援事業補助金　［479万円］

林業費
・高性能林業機械導入事業補助金　［365万円］

水産業費
・みらいの担い手育成事業補助金　［576万円］

委員の問 みらいの担い手育成事業補助金の対象人数は。

答 今年度は5人。

商工費
・物価高騰生活応援商品券事業業務委託料　［5111万円］
・観光施設管理修繕工事請負費　［530万円］
内訳はブルーマリン号400万円、海南駅前緑化法面整備工事130万円。

委員の問 ブルーマリンは毎回、修繕しないといけないのか。新船も考える時期にきているのでは。

答 宍喰の観光施設といえば、マリンジャムやブルーマリンというイメージがあるので続けていけるように考えていきたい。

土木費
・道路新設改良設計委託料　［3300万円］
内訳は川又橋900万円、久尾中央橋1600万円、浅川川東線川東縦貫交差点改良工事設計800万円。
・地質調査委託料　［1610万円］
四方原五反田線ボーリング調査。
・橋梁点検委託料　［1530万円］
町内47橋の調査設計。
・町道新設改良工事請負費　［2000万円］
浅川川東線法面修繕工事、四方原五反田線改良工事。

消防費
・津波対策計画策定支援業務委託料［480万円］
・災害対策備品購入費　［570万円］
備蓄倉庫4地区分。竹ヶ島、那佐、尾崎、大井地区。

○令和7年度下水道事業会計補正予算
・漁業集落排水事業工事請負費　［2800万円］
真空ポンプ2台と回分槽散気装置1台。

その他主な事業は、左のページに特集しています。

暮らしを応援します！

物価高騰生活応援商品券事業　5564万円

米の価格高騰をはじめ、長引く物価高騰に対する生活応援を目的に商品券を配布します。

１人当たりの配布額は６，０００円

使用期間：令和７年８月１０日～
令和７年１２月３１日まで

海陽くらし生活応援商品券（見本）

町の備蓄やふるさと納税返礼品として
防災食開発事業　550万円

ふるさと納税返礼品への活用を目指し、地元産品を使用したオリジナルの防災食を開発します。

水産業の担い手育成のために
ふるさとの浜の担い手支援事業補助金　584万円

町内の漁業の担い手として、親元に帰り、新規に漁業を始める方に、就業準備や早期の経営確立を図る資金を交付するもの。また、水産振興に係る研修授業等を実施するための費用について補助金を交付します。

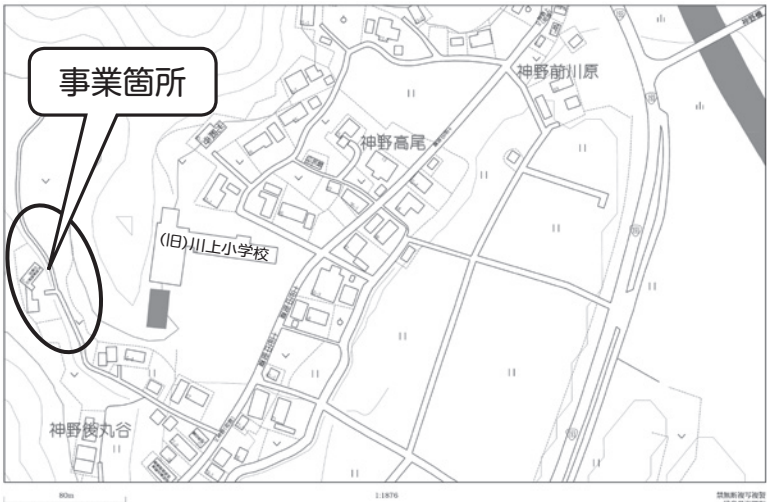
補助金：１年目は１５０万円　２年目～４年目は各７５万円

水害に備えて
七川（ひちがわ）護岸改修事業　3050万円

七川が増水した時に円滑に流れるよう、川幅を広げる護岸の改修工事を実施します。

施工延長　Ｌ＝８４．９ｍ

護岸改修予定の七川
（神野字後丸谷地区）



七川位置図

文教厚生常任委員会

委員長　長江　範裕

6月10日開会。

当委員会所管の協議事項の6月議会提案について、説明を受けた。

専決関係

○令和6年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ3億1799万円を減額し、総額を96億1521万円とする。

歳出予算

総務費

・町営バス運行委託料［減額50万円］

委員の問　土日の運行はしないのか。

答　第2次実証実験運行の状況も見て、今後の運行については考えていきたい。

民生費

・高齢者外出応援事業助成金［減額908万円］

委員の問　利用促進のため、周知を徹底すべきでは。

また、地域によって運賃に差があるが、助成額を検討できないか。

答　いろいろな機会を捉えて周知をしていく。

助成額については検討する。

・児童手当費［減額1767万円］

委員の問　当初予算が約9900万円で大幅な減額であるが、その要因は。

答　制度改正があり、その支給額の増額分を、当初予算で組んでいた。第3子以降の人数把握が困難であったことが主な要因である。

土木費

・住宅管理修繕費［減額250万円］

委員の問　浅川地区の町営住宅は将来的に建て替える予定はないのか。

答　町営住宅はどこも古くなってきており、今後、町全体の中で建て替えの場所等についても計画を立てて検討をしていく。

教育費

・子どもあゆみ学校給食費補助金［減額591万円］

委員の問　減額の理由は。

答　物価高騰を見込んで、多めに予算を組んでいたが、食材を価格の安定している野菜などを購入したこと、栄養教諭による献立の工夫をしたことにより減額できた。

○令和6年度国民健康保険特別会計予算

事業勘定の総額は14億3391万円。施設勘定の総額は8021万円。

委員の問　令和6年度の町内の出生数は。

答　20名

委員の問　海部病院の産婦人科はどうなっているのか。阿南まで行くのであれば、救急搬送時にヘリコプターも使用できないのか。

答　海部病院は、7月から分娩の取り扱いが休止となる。消防組合との話し合いで、状況によりヘリコプターの使用もあり得る。

契約関係

○校務用パソコン購入契約

Windows10のサービス終了に伴う校務用パソコンの購入。

委員の問　今回の入札は辞退が多いがその理由は。

辞退した業者はペナルティの対象にはならないのか。

答　11社を指名し、期限内に物品の調達が困難とのことで、4社が辞退。

ペナルティの対象にはならない。

予算関係

○令和7年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ3億3835万円を追加し、総額を102億2435万円とする。

総務費

・地域公共交通確保維持改善事業

委託料［3586万円］

車両購入費［352万円］

委員の問　車両は5人乗りということだが、荷物も多い場合のことも考えて車種を選ぶのか。いつ頃から運行するのか。現在の宍喰のバスはどうするのか。

答　車種選びでは、荷物を載せることも考えている。運行は令和8年1月頃から予定している。現行のバスは、海南・海部地区のバスが古くなっているので、入れ替えを考えている。

教育費

・奨学金基金繰出金［309万円］

委員の問　近年の奨学金の希望者の数はどうなっているのか。台帳の管理及び納付金の流れはどうなっているのか。

答　奨学金を希望する人数は、生徒減などにより、年々減っている。

台帳は、教育委員会で管理し、納付については納付書により出納室に直接入るようになっている。

○令和7年度海南病院事業会計補正予算［589万円］

薬剤師雇用等による人件費及び病院見学旅費支給補助制度創設に伴う追加。

海陽中学校　巡視
グローバル教育事業　中学校・新スタイル英語授業

その他主な事業は、左のページに特集しています。

利便性の向上のために
デマンド交通実証運行事業　3942万円

- **デマンド交通実証運行システム導入費、地域交通検討調査委託費**
- **デマンド交通実証運行用車両購入費ほか**

宍喰地区デマンドバスの小型化と、予約・配車システム導入により、利便性の向上を図ります。

さらに、町内全域での高い利便性を持つ持続可能な新しい交通体系の構築に向けて、調査・検討を行い、計画素案を策定します。

これにより、地域住民の移動手段の確保と生活の質の向上を目指します。

小型デマンドバス（イメージ）

在宅生活を支援します
ごみ出し支援事業　57万円

高齢等により、家庭ごみを所定のごみ集積所まで持ち出すことが困難な世帯に対してごみを収集することにより、安心で暮らしやすい在宅生活を支援します。

利用世帯の要件（次の全てに該当する世帯）

- 最寄りの集積所が居宅から５０メートル以上離れていること。
- すべての世帯員が運転免許を有していないこと。
- すべての世帯員がＡＤＬ（日常生活動作）の項目のいずれかに“支障あり”の状態であること。

利用料金：月額５００円　　○収集の頻度：週１回

園児に快適な学びを
かいようこども園　簡易間仕切り購入事業　71万円

9月から始まるイマージョン教育の実施に向け、学びやすく、最適な環境づくりをするため、簡易間仕切りを購入します。

第2回定例会

■議案の審議■

令和7年第2回定例会は、6月9日開会、町長より20議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決・承認し、6月13日閉会した。

注釈 ⇩減額 ⬆増額

承認関係

専決処分の承認（条例）

・税条例の一部を改正する条例

専決処分の承認（予算）

・令和6年度一般会計補正予算（第11号） 3億1799万円⇩

・令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
事業勘定 4865万円⇩ 施設勘定 170万円⇩

・令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） 180万円⇩

・令和6年度介護保険特別会計補正予算（第3号） 5207万円⇩

・令和6年度鉄道経営安定基金特別会計補正予算（第1号） 4万円⬆

条例関係

・議会の個人情報の保護に関する条例及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

・職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

・徳島県市町村総合事務組合規約の変更について

・特別職で常勤のものの給与等に関する条例の一部を改正する条例

契約関係

・可搬型蓄電システム購入契約について
契約方法 指名競争入札
契約金額 715万円
契約相手 徳島ポンプ 株式会社
納 期 議決の翌日～令和7年12月19日

・折りたたみ式給水タンク購入契約について
契約方法 指名競争入札
契約金額 693万円
契約相手 喜多機械産業 株式会社
納 期 議決の翌日～令和7年12月19日

・海水淡水化装置購入契約について
契約方法 指名競争入札
契約金額 1760万円
契約相手 喜多機械産業 株式会社
納 期 議決の翌日～令和7年12月19日

・校務用パソコン購入契約について
契約方法 指名競争入札
契約金額 1263万円
契約相手 スタンシステム 株式会社
納 期 議決の翌日～令和7年9月30日

予算関係

・令和7年度一般会計補正予算（第1号） 3億3835万円⬆

・令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
事業勘定 214万円⬆

・令和7年度介護保険特別会計補正予算（第1号） 949万円⇩

・令和7年度水道事業会計補正予算（第1号） 44万円⇩

・令和7年度下水道事業会計補正予算（第1号） 2760万円⬆

・令和7年度海南病院事業会計補正予算（第1号） 589万円⬆

報告関係

・繰越明許費に係る繰越計算書の報告について

・建設改良費繰越に係る繰越計算書の報告について

専決処分の報告

・和解及び損害賠償の額を定めることについて 2件

6月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	6月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億1,669万4千円	6.0
地方譲与税	0	1億8,110万円	1.8
利子割交付金	0	50万円	0.0
配当割交付金	0	630万円	0.1
株式等譲渡所得割交付金	0	990万円	0.1
法人事業税交付金	0	1,300万円	0.1
地方消費税交付金	0	1億7,060万円	1.7
環境性能割交付金	0	570万円	0.1
地方特例交付金	0	100万円	0.0
地方交付税	0	39億2,121万5千円	38.4
交通安全対策特別交付金	0	30万円	0.0
分担金・負担金	0	1,126万円	0.1
使用料・手数料	0	7,515万3千円	0.7
国庫支出金	3,750万1千円	4億6,734万1千円	4.6
県支出金	1,326万3千円	4億9,253万3千円	4.8
財産収入	88万7千円	4,608万6千円	0.5
寄附金	970万円	1億6,040万円	1.6
繰入金	1億5,516万5千円	12億9,186万5千円	12.6
繰越金	0	2億3,000万円	2.2
諸収入	3,123万4千円	1億30万3千円	1.0
町債	9,060万円	24億2,310万円	23.7
合計	3億3,835万円	102億2,435万円	100.0

歳出	6月補正	補正後	構成比率
議会費	4万8千円	7,075万円	0.7
総務費	2,536万3千円	12億8,151万5千円	12.5
民生費	731万5千円	18億9,601万3千円	18.5
衛生費	2,411万4千円	9億1,635万4千円	9.0
農林水産業費	3,980万3千円	4億8,078万1千円	4.7
商工費	6,395万円	3億7,870万8千円	3.7
土木費	1億4,579万5千円	6億7,503万4千円	6.6
消防費	1,395万3千円	18億2,022万1千円	17.8
教育費	1,800万9千円	10億8,942万1千円	10.7
災害復旧費	0	2,395万円	0.2
公債費	0	8億1,169万8千円	7.9
諸支出金	0	7億6,925万円	7.5
予備費	0	1,065万5千円	0.1
合計	3億3,835万円	102億2,435万円	100.0

令和７年度 町村議会議長・副議長研修会

会場：東京国際フォーラム（令和７年５月27日）

明治大学名誉教授　青山氏による講演

阿南安芸自動車道の整備促進に向けたトップミーティング

会場：海陽町役場（令和７年４月21日）

四国横断自動車道建設促進期成同盟会総会

会場：阿南市役所（令和７年５月30日）

議会のうごき　4月1日から6月30日まで

4月

4日　議会広報編集特別委員会
15日　議会広報編集特別委員会
18日　海部郡町村議会議長会第１回総会（牟岐町）
21日　阿南安芸自動車道の整備促進に向けたトップミーティング

5月

23日　一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会役員会・総会（高知県田野町）
27日　令和７年度町村議会議長・副議長研修会（東京）
30日　四国横断自動車道建設促進期成同盟会総会（阿南市）

6月

2日　議会運営委員会
　　議会全員協議会
9日　第２回定例会（１日目）
　　総務産業建設常任委員会
　　議会運営委員会
10日　文教厚生常任委員会
12日　第２回定例会（２日目）
13日　第２回定例会（３日目）
　　議会広報編集特別委員会
22日　海陽町戦没者追悼式
25日　徳島県町村議会議長会臨時総会（徳島市）

議案審議

令和7年度 一般会計補正予算

Q1. 幼稚園費機械借上料及び備品購入費 〔159万円〕

富田議員

機械借上料とは何か。また備品購入費は何を購入するのか。

森﨑教育次長

機械借上料とは、かいようこども園のリズム室における熱中症予防のための冷風機等のリース料。

備品購入費は、リズム室における木製の簡易間仕切り。

Q2. 一般コミュニティ助成事業補助金 〔250万円〕

髙畠議員

分館運営助成金や伝統文化継承・地域活性化等補助金などがあるが、これらの補助金とは別物なのか。

池田地域つながり課長

この補助金は別物であり、一般財団法人自治総合センターが宝くじ社会貢献事業の一環として行う、活力ある地域づくりのための助成金を財源とした補助金である。

今回、コミュニティ活動の推進に必要な備品整備のため、一般コミュニティ助成事業を活用して、海部公民館4階ホールの長机及びパイプ椅子の買い替えを行う。

Q3. 地質調査委託料 〔810万円〕

長岡議員

この調査をする場所はどの辺りなのか。

奥原建設防災課長

宍喰板取の葬祭場から西に入り、高架下を抜けたら阿佐東線の線路と並行した土地がある。ここを残土処理場として可能かどうか調査する予定。

Q4. 防災食開発事業委託料 〔550万円〕

小山議員

この開発についての意義とはどういうものか。

またどういった防災食を予定されているのか。

岩佐行革政策課長

この事業は、地場産品を使用したオリジナルの防災食を開発するもので、昨年度から(※)副業型地域活性化起業人として従事していただいている方からの企画提案事業。

また、栄養価などにも配慮した高付加価値の防災食を目指していく。

将来的に町の備蓄や、ふるさと納税返礼品として展開予定。

(※) 副業型地域活性化起業人とは、三大都市圏に所在する民間企業等に所属する個人と地方圏の地方自治体が協定等を結ぶことにより、専門的なノウハウや知見を活かして地域活性化を図る取り組みに対して総務省が財政支援を行う制度

Q5. 町営バス運行費委託料〔3586万円〕

戸田議員

デマンドバス実証実験等に関わるという説明であったが、事業内容や委託先は。また、車両はどういったものを購入するのか。

中内住民環境課長

宍喰デマンドバスの在り方の検討と予約・配車システムを導入する。また、海陽町全体の交通の在り方を調査・検討し、計画の素案を策定していくというのが委託業務の内容。委託先は、これから公募する。

車両については、乗り降りがしやすく、比較的広いようなコンパクトカーを考えている。

Q6. 道路新設改良費〔800万円〕

叶岡議員

海陽中学校から海部高等学校に抜ける町道川東縦貫線の交差点は、非常に事故が多い。どのように改良するのか。

奥原建設防災課長

現時点では、海陽中学校側に畑があり、この土地を購入し、少し東に寄せる予定。

Q7. 校務用パソコン購入契約〔1262万円〕

佐川議員

更新した古いパソコンの処分はどうするのか。

森﨑教育次長

基本的には、業者が回収して廃棄をする。

□ 議会の傍聴にお越しください □

皆さん傍聴にお越しになりませんか。
（議場は海南庁舎３階）

- 傍聴されるときは、受付票に必要事項を記入し受付箱に投函してください。
- 傍聴席の定員は 17 名（記者席除く）で先着順となっております。
- なお、ルールとして「傍聴人心得」があります。

傍聴席入口

「エネルギーと創造力で」

町長　三浦　茂貴

このたびの職員による「緑の募金の着服」という不祥事について、町の信頼を損なう事案を発生させたことを町民や関係者に深くお詫び申し上げ、今後、信頼回復と再発防止に向けて一丸となって取り組んでいく。

住み良いまちの実現

今回のような不祥事を未然に防ぐために、コンプライアンス研修等を行い、**職員力の向上**によって効率的に住民サービスの質の向上を目指していく。

3月9日に**ふるるんアプリ**をスタートさせ、町の情報発信や防災面などにも活用していきたいと考えている。

農免道路の海陽中学校付近交差点の見通しが悪く、改良する工事を行う予定である。

文化村から農免に抜ける**四方原五反田線**は道路の詳細設計にかかる地質調査を行っていく。

町道の全面管理を効率的に行うために、ＡＩ解析を活用した道路路面調査の委託を行う。

今後も危険箇所を解消しながら、安全かつスムーズに通れる町道整備を進める。

国の補助金を活用し、今後の高齢化社会に向けて、宍喰地区の**(※)公共ライドシェアの実証**運行や、川上・川東・浅川・海部地区での交通形態変革の計画を策定していく予定である。

(※) ライドシェアとは、交通空白地の解消を目的として、自治体や非営利団体が主体となり、自家用車（白ナンバー）で有償運送をするもの

サル被害が多発しており、営農者に対して、防護柵を設置する費用の補助金を創設する。

にぎわうまちの実現

令和6年度の実績として、個人・企業版合わせて2億2527万1千円の**ふるさと納税**を頂いた。今年度は3億円を目標として取り組む。

物価高騰で家計が苦しい状況の中、主食である米の値段も高騰している。1人当たり6千円の**商品券を配布する**。

ふるさと浜の担い手支援事業補助金を創設する。親元就業に対し、水産業の担い手育成にも取り組んでいく。

昨年度の**空き家バンク**の実績は、14件の成約があり、うち改修補助金の活用が10件であった。

新たに13件の物件登録もされ、今後も新規物件の開拓と活用を進める。

移住促進としては、昨年度、町の移住相談から2組3名の方が本町に移住を決めている。

地方の移住者獲得競争が激化している中、他地域にひけを取らないように、積極的に推進する。

はぐくむまちの実現

妊婦が事前に情報登録を行うことで、緊急時にスムーズに救急車で病院まで搬送する「**かいようママ・サポート119**」を7月から導入し、産婦人科から遠くても、安心して妊娠及び出産ができる環境を整えていく。

今年度から中学校の新たな授業形態として、**オールイングリッシュのモデルクラス**を海陽中学校1年生で実施しており、2年後には全ての学校・学年に拡大予定である。

町内の小学4年生から中学3年生までの全員が6月18日に**万博に校外学習**として行く予定。

今後も子どもたちが田舎にいても最先端のモノを体験する機会を得られるように、都会に負けない教育を実践する。

海陽町が発足して今年度で20周年を迎える。

将来の町の行く末を考え、次世代がバトンを握る30年後に責任を持てる町づくりをするために、今後もエネルギーと創造力で、これからの未来を描いていければと思う。

大阪・関西万博での宍喰小学生
（令和７年６月18日）

蓄電池・省エネ家電の買い替えに補助はできないか

長江　範裕　議員

〈住民環境課長〉先行事例を参考に、国・県の補助金等も注視しながら検討する。

問　近年、太陽光発電と蓄電池を整備する方が多い。蓄電池を整備することにより、停電時や災害時にも電気が使用できる。また、省エネ家電への買い替えは、電気代の削減やSDGsにもつながる。特にエアコンは電気代高騰で使うことを控えることにより、熱中症の危険がある。災害に強い町、環境に優しい町としてPRができるとともに、住民の命を守るために、国・県の補助の上に、町独自の上乗せ補助は考えられないか。

答　中内住民環境課長

再生可能エネルギーの導入についての支援は、地球温暖化対策及びエネルギーの地産地消、災害時の電源確保といった観点から極めて重要であると認識している。省エネ性能の高い家電への買い替えは、家計負担の軽減だけでなく、二酸化炭素排出量の削減にも効果がある。国や県の支援措置を注視しながら、今後、検討していく。

答　三浦町長

防災面に関して、蓄電池の補助は有効な施策であると思う。しかし、予算に限りがあるため、特定の家庭に偏らず、広く住民の安心感につながっていくような制度にしなければならない。

県ではバッテリーバレイ構想を掲げていて、県と相談しながら、町として取り組める事業があれば、積極的に取り組んでいきたい。

蓄電池（屋内）

太陽光発電（屋根）

ラーケーションの導入・低学年の通知表廃止はできないか

〈教育次長〉ラーケーション制度の９月導入に向けて準備を進めている

問　県教委では、児童生徒が探求活動などのために学校を休んでも、欠席扱いとならないラーケーション制度の活用を促進している。子どもと保護者の交流を増やすことや、保護者が土日に働いている家庭で、家族が一緒に過ごす時間を増やすことを目的としている。また町内、町外の方が自然の多い本町を訪れることで、観光需要にもつながられる制度ではないか。本町では導入に向けて検討しているのか。

答　森﨑教育次長

現在、導入に向けての準備を進めており、海陽町の地域特性や各学校、保護者や児童生徒の状況を十分踏まえた上で、実効性のある制度となるよう要綱の作成を進めている。わかりやすいパンフレット等を作成し、積極的な広報活動も行う。

問　他県では、小学校低学年の発達段階で、劣等感を感じて自信や意欲を失ったり、仲間関係の序列が起こらないように、1・2年生の通知表を廃止している事例がある。低学年ではのびのびと学習するという意味で、この制度の導入は考えられないか。

答　三浦教育長

通知表は各学校長の裁量となっている。教育委員会としては、学校現場の判断を尊重しつつ、校長と協議を重ねながら、通知表をより効果的かつ発達段階にふさわしい形で活用していくよう支援していく。

廃止に伴う海部西保育所の利活用について

〈子どもあゆみ保健課長〉子育て世帯のニーズや、地域の声も聞きながら検討していきたい

富田　寛　議員

問　現在、学童保育は、春休み、夏休み等長期休暇期間に、小学1年生から3年生までの児童預かりを実施しているが、旧西保育所を利活用し、預かる学年を1年延長して4年生までとできないのか。

旧海部西保育所

答　西宮子どもあゆみ保健課長

子どものための施設としての利活用の検討を進めているが、整備にかかる費用、維持管理コストや、運営にかかる人材の確保なども含めて、考慮する必要がある。

子育て世帯のニーズや、地域の声も聞きながら、安全性、利便性、持続可能性など、多角的な視点から、検討していく。

企業誘致に伴う補助金制度の拡充を

〈産業振興課長〉新規に地元雇用することに対し、雇用奨励金など併せて考えていく

問　海陽町にも、ふるさと創造支援補助金制度はあるが、今後、地域活性化のことを考えると、制度の拡充をすべきである。よって、次の提案をしたい。

まず、工事施設等建設工事に対して3割補助（上限500万円）ができないか。

答　乃一産業振興課長

現状で、施設等取得に係る費用へ直接補助するということは、他の自治体でもあまり例がないので、慎重に検討する必要がある。今後の企業誘致支援制度の中で、参考にしていきたい。

問　用地購入費の2割補助ができないか。

答　乃一産業振興課長

本町へ新規参入する意思がある企業にとって、本町が魅力ある場所というアピールも必要である。事業用資産の取得そのものではないところで、検討していく。例えば、土地や建物の賃借料に係る補助や、通信回線の使用料に対して補助金を交付するなど。

問　固定資産税、法人町民税の3年間免除措置ができないか。

答　乃一産業振興課長

本町において海陽町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく固定資産税の課税免除に関する条例が制定されているので、3年間は全額課税免除の適用を受けることができるようになっている。

法人町民税の免除については検討する余地はあるとは考えているが、現時点では難しい。

問　住民票を異動した社員が町内の賃貸住宅に入居する場合、月1万円の住宅補助ができないか。

答　乃一産業振興課長

移住者だけを考えるのではなく、町内の企業、住民、双方に公平な制度の構築を考えていかなければならない。

今後、制度の検討をするにあたり、既存・新規の分け隔てすることなく、新規に地元雇用することに対し、雇用奨励金等など併せて考えていくことで、町内の産業全体を盛り上げていければと思っている。

今後のデュアルスクールは継続するのか

〈教育次長〉本町独自の事業として継続していくことを検討する

佐川　富美　議員

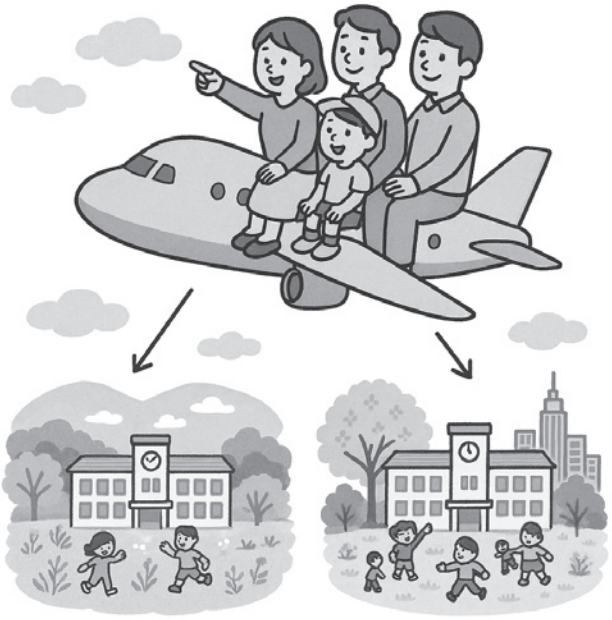
問 **地方と都市のふたつの学校を行き来し、双方で教育を受けることができるデュアルスクール制度が、令和7年度をもって県の事業は終了する。令和8年度からは、各市町村の判断と体制の下での実施となるが、本町ではどうするのか。**

答 **森﨑教育次長**

デュアルスクールがもたらす対象児童生徒への効果は、体験機会の拡大や学力向上への寄与、地域住民との交流促進などである。

本町の将来を担う子どもたちにとっても、新しい人間関係づくりの体験や、我が町の良いところの再発見など、新たな価値観と出会うきっかけになっている。

このデュアルスクール事業の良いところを生かしながら、子どもたちの学びの活性化や移住促進のために、本町独自の事業として継続していくことも視野に入れて検討していく。



デュアルスクールのイメージ

「小１の壁」に対する解決策は

〈子どもあゆみ保健課長〉子育てのニーズに対応し、より利用しやすくなるよう取り組みを実施している

問 **「小１の壁」と呼ばれる課題がある。保育所では、18時まで保育があるが、小学校に入学してからは、放課後子ども教室が17時で終了する。保護者の就労時間と合わない現状がある。本町にはファミリーサポートセンターがあるが、その利用状況は。**

答 **池田地域つながり課長**

保護者の迎えが必要な児童で、迎えが17時を過ぎる場合、海部地区では放課後子ども教室の職員が対応している。

海南・宍喰地区では、放課後子ども教室終了後に図書館で過ごせるよう、連携して対応している。

答 **西宮子どもあゆみ保健課長**

令和6年度のサポートの内容については、保育所や放課後子ども教室、子どもの習い事などの送迎が１０１件。

保育所や放課後子ども教室の開始や終了前後の預かりが24件。

保護者の仕事や体調不良、育児疲れなどのリフレッシュでの預かりが１９６件。

病児・病後児預かりが56件などとなっている。

令和4年7月から、利用助成等の制度を開始し、子育てのニーズに対応し、より利用しやすくなるよう取り組みを実施している。

広報紙の掲載について

〈行革政策課長〉プライバシーに十分配慮しながら、魅力的な広報紙を目指す

木内　正和　議員

問 **海陽町の広報紙で、行事での幼児の写真が多く掲載されているが、保育所や保護者の了解は取れているのか。また、最終の校正の責任者は誰なのか。**

答 **岩佐行革政策課長**

最終校正は広報担当課で確認・校了後、印刷の工程へと進めている。使用する写真は、原稿を作成する担当課が準備し、表紙は、広報担当課が作成する。

学校や園などは、年度初めに一括で保護者から承諾を得ているケースが多いため、使用の目的を説明した上で撮影しており、都度、保護者一人一人の確認は行っていない。

問 **写真掲載は、保護者に確認をしていなかったとのことだが、今後の対応は。**

答 **岩佐行革政策課長**

広報紙は印刷物として配布されるだけでなく、ホームページでも公開されることを念頭に置き、最終校正においては、担当課だけでなく、複数人の多様な視点で確認をするように改善を図っていく。

学校や園など、人物の特定できる場合は、関係機関に必ず確認することを徹底する。また、チェックリストを作成し、プライバシーに十分配慮しながら、魅力的な広報紙を目指していく。

広報編集会議の様子

教育委員会委員の任命について

〈教育次長〉保護者枠での委員の選任を確実にしていく

問 **地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、教育を受ける児童生徒の保護者の視点を教育行政に反映させるため、保護者が委員に選ばれるようにしなければならないとなっているが、海陽町教育委員会に保護者枠の委員はいなかったのか。**

答 **森﨑教育次長**

本年3月の時点では、保護者枠の委員はいない状態。現在は解消している。

問 **町の教育行政は、小中義務教育であると思うが、教育長の認識は、保護者枠は18歳までと思っていたのか。**

答 **三浦教育長**

法的には、18歳になるまでのお子さんがいる方が保護者である。しかし、教育委員の中に、小学校、中学校に保護者の方が入っているのが一番望ましいと思っている。

問 **違憲状態の期間があったということは、教育行政の怠慢である。教育委員会は反省しているのか。**

答 **三浦教育長**

私の認識不足でこのような状態を招いたことを、深くお詫び申し上げる。

国道55号の交通安全対策を

叶岡　徹　議員

〈建設防災課長〉那佐地区の水たまりは、今後引き続き、調査及び改修の要望をしていく

問 海南庁舎前の交差点に、大型モニターが設置されている。交通安全上の問題が多くあると思うが、設置について規制はないのか。

答 **奥原建設防災課長**
県発行の屋外広告物の手引によると、高さ及び表示面積が適用除外の制限の基準内であるため、許可申請は必要がない。
今後、住民からの苦情があれば、企業の営利を阻害しない範囲内で設置業者へ丁寧に説明し、協議していく。

問 国道55号の那佐地区において、以前から水漏れが発生している。そのまま放置していると、全国で問題になっているように、陥没が起きないか懸念する。またカーブ付近なので車両通行に危険である。改修等を、国土交通省に要望しているのか。

答 **奥原建設防災課長**
以前、上水道の漏水の疑いもあり、調査を行った。その後、国の方で道路を掘削して調査を行ったが、原因の究明には至っていないのが現状。日和佐国道出張所には、調査及び改修の要望はしているが、引き続き、早期に改善できるよう求めていく。

ふるさと納税返礼品の今後の展望は

〈行革政策課長〉生活スタイルやニーズによって選びやすい展開を行う

問 ふるさと納税について、今年度は3億円の目標とのことだが、返礼品を、これからどうしていくのか。

答 **岩佐行革政策課長**
返礼品の内容を工夫するなど、それぞれの生活スタイルやニーズによって選びやすい返礼品展開を行い、新規寄附者の獲得を図る。
情報発信としては、ポータルサイト内の検索連動広告を有効活用し、ふるさと納税に関心が高い層へのPRを行うとともに、都市部において、ふるさと納税や観光・移住関係のイベントなど、対面で直接本町の魅力を伝える機会を積極的に活用する。

答 **三浦町長**
本町は、海・山・川とコンパクトにまとまった自然があり、体験ができる地域である。ふるさと納税にも、この自然を活かした体験プログラムを増やしたい。

ふるさと納税返礼品（体験プログラム）

子どもたちへのスポーツ教育を強化できないか

〈地域つながり課長〉イベント開催で、子どもたちの興味を広げる

問 本町には、各種スポーツで有望な選手が出ている。子どもたちが、その選手を目標にするようなスポーツ教育を強化できないか。

答 **池田地域つながり課長**
子どもたちの興味を広げるスポーツ推進イベント開催など、スポーツに興味を持ち、親しむことができる環境を充実させるよう取り組んでいく。

みんなの広場　町のご長寿さん

植野（うえの） ハツ子（はつこ）さん

平井字大比　満96歳（昭和4.5.5生）

自宅前にて
（令和7年6月20日）

元気の秘訣は？

- 好き嫌いなく、よく食べること。
- サロンで脳トレクイズをしたり、お寿司を食べながら話しをすること。

日常生活は？

- テレビを見るのが楽しみ。
- 孫が月に1回程度来てくれ、時々泊まっていくのが楽しみ。

人生の思い出は？

- 30年以上、山の仕事を主人としたこと。
- 大比地区の人と一緒に旅行に行ったこと。
- 子どもに東京に連れて行ってもらったこと。

編集後記

6月議会では、物価高騰生活応援事業として、地元商品券の配布（1人6千円）の予算計上等がありました。

今年の夏は高気温が予測されます。熱中症対策に気をつけましょう。

議会広報編集委員の一員として、研修会に参加し、自己研鑽をしておりますが、紙面の見出し、文言等について、住民の皆さまに読みやすく、分かりやすい議会広報紙になるよう、今後も努力を積んでいきたいと思います。

皆さまのご意見を気軽にお寄せいただければ幸いです。

（富田）

キバナノセッコク（黄花の石斛）

常緑広葉樹林の木や岩に着生する野生ラン。生息地は四国、九州地方など。花期は6月～8月。絶滅危惧種。